



# ゆずり葉

二宮町立山西小学校  
学校便り「ゆずり葉」  
第103号  
山西小学校 72-3777

## 運動会をとおして学んでほしいこと 音楽をとおして学んでほしいこと

一年間で、もっとも多くの人が学校に集まるのは運動会です。子どもたちが、明るく元気に競技や演技をしている姿を楽しみにしていることと思います。

しかしながら、今年は新型コロナウイルスの影響で規模を縮小しての運動会を計画しました。十月八日に予定していたものの、台風の影響があり十月三十一日(土)の学習参観日に、保護者の方々にご覧いただくことにしました。

スポーツの競技は勝負です。勝負に勝とうと精一杯頑張ってほしいです。

「勝ち」が決まったと思っても最後まで走り続けること、勝っても負けた相手を見下さないことです。反対に「負け」が決まったと思っても最後まで



で走り続けること、負けても審判や何かのせいにしてふてくされないことです。

勝っても負けても正しい受け止め方を教え、自分の成長に繋げていきます。

「勝っても醜い姿あり」

「負けても美しい姿あり」

音楽についてです。学習指導要領では、「表現及び鑑賞の活動を通して音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。」とあります。

子どもたちは、「大きい声を出さないように気をつけながら歌っています。一人一人の声の質は違います。それらの違いが重なり合ったときに、美しいハーモニーが生まれます。歌っている本人たちも、聴いている周りの人たちも心地よくなるのです。

運動(体育)や音楽も、みんなと一緒に活動することで自分の成長を感じたり、友だちを認めたりができてきます。自分一人で生きているのではないのです。

このような心の基礎教育を充実させて、**中学校へ繋げていきたい**です。体育祭や合唱祭が楽しみです。



## 子どもたちの目に輝きが! (校外学習)

一学期に行えなかった校外学習(遠足)が始まりました。

九月十五日(火)、

六年生は箱根方面に行きました。寄木細工体験と箱根水族館、関所見学をしました。

社会科の学習に歴史があります。なぜ**関所が必要だったのか**。現代と比較し、それを考えることで、江戸時代の政治や暮らしが見えてくるものです。

九月二十九日(火)、一年生は湘南台文化センター子ども館に行き、当日の夜空の星たちが観られるプラネタリウムと簡単な科学遊びを体験しました。

一年生 人気のすべり台



6年生 箱根の関所



三年生 ソウさんに驚き

十月一日(木)に、三年生がよこはま動物園ズーラシアに行きました。次から次へと珍しい動物に目を輝かせていました。ミーアキャットを見た子どもたちから、「かわいいー」という声がたくさん聞こえてきました。**命あるものに対する愛の気持ちの表れ**です。「命」を大切にする学習の根本には、この**ようなたくさん体験が必要**ではないでしょうか。

五年生の野外活動については、施設の利用制限があったため、クラスごとで日帰りの活動になりました。十月十五日(木)は二組、翌十六日(金)は一組でした。秦野市表丹沢野外活動センターで、カレーづくりとクラフトを体験しました。

野外活動には、いつもの生活とは違う**「不便さ」**があります。野菜を切ること、煙たい中で安定しない薪の火を持続させること、野菜を炒めたり煮込んだりすること、ススが付いた鍋をきれいに磨くこと、どれもこれも一人ではできません。ここで学ぶのは、**美味しいカレーを作ることではなく、「協力」すること**です。物事がスムーズにいかないと人はイライラします。イライラすると文句や喧嘩が起きます。それをしないで助け合うことを教えました。どのグループもそれができたのです。ですから、言うまでもなくカレーは美味しかったです。

子どもたちの振り返りの言葉(キーワード)は、「不便」「協力」「友情」「努力」「自分の役割」などがありました。中には、火起こしの場面を取り上げて、家のコンロがどれだけ便利で、時間短縮になっているかに気づいた子もいました。

五年生 カレーづくり



この子たちの気づきは掛け替えのないものです。五年生も心が成長しています。みんな仲良く過ごしていました。表面的ではなく、しっかりと**心が繋がってきている**と確信しました。

○学校研究

前回にも示したとおり、今年度からの学校研究は、「主体的・対話的で深い学び」の実践です。そのための手立てとして「全員手を挙げる」場面を授業に盛り込むことを実践しています。主体的に授業に参加しているか、誰が分かっているかが把握できないのか、誰が分かっているか、誰が把握できません。子どもたちも分っていない友だちに気づき、教えることもできます。また、挙げた手のジェスチャーで、賛成・反対・付けたし・質問を周囲に知らせる効果もあります。

まずは、**主体的に授業に参加する態度を身に付けていきます**。それには、すべての子が学習内容に興味や関心をもてるような**教師側の工夫が不可欠**です。

**「わかる」「できる」「という本当の楽しさ**が味わえるよう努力していきます。

○三猿から思いつく(日光東照宮)



子どもが見ない方がよいものはたくさんあります。

子どものうちから良くない言葉は使わない方がよいです。



子どもに聞かせたくないものはたくさんあります。